

【9月の休館日】2日(月)・9日(月)・11日(水)～30日(月)

参加無料

中央図書館 創立130周年記念イベント

北村薫対談「本と本づくり」

直木賞作家の北村薫さんと新潮社編集者の北村暁子さんが、書かれた小説が雑誌に掲載されたり、単行本になるまで等、本にまつわるあれこれを対談します。

- 日時 10月13日(日) 午後2時～
- 会場 中央図書館 読書室(3階)
- 申込方法 9月3日(水)から図書館へ直接または電話で申し込み。
- 申込受付時間 午前9時～午後5時 ※9月11日～30日は電話のみ受付(土日祝除く)

9月のおはなし会(こども図書館本の森)

- ひよこのおはなしかい 9月5日(日)
- おはなし玉手箱 9月7日(火)
- ※時間はどちらも午前10時30分～



北村 薫氏
1949年埼玉県生まれ。「驚と雪」で直木賞受賞。他に「夜の蟬」「スキップ」「ひとがた流し」など。

図書館休館日のお知らせ

9月11日(水)～30日(月)は、蔵書点検およびシステム入替のため休館します

休館する施設

- ・中央図書館、こども図書館
- ・中央・東地区・城南地区公民館図書室

休館中に返却したい時は…

▼返却ポスト(中央図書館玄関脇)に入れてください。
※CD・ROM付の図書は壊れることがあるので返却ポストに入れず開館日に直接カウンターへお返しください。なお各公民館でも本・雑誌は返却することができます。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力お願いします。

8月27日(水)～9月10日(水)は

貸出期間を延長します
▼貸出期間(雑誌は除く)を3週間に延長します。

時の記憶

シリーズ162

昭和49年茨城国体 ～バドミントン競技 開催に向けて～

文化振興課(支所)
TEL 43-1111 (内線 1323)

昭和49年の第29回国民体育大会(水と緑のまごころ国体)では石岡地区がバドミントン競技の開催地に選ばれました。

石岡地区では、「バドミントン競技出場選手、審判員は地元から」を目指し、市内関係機関団体や各学校の協力により、地元選手の強化及び審判員の養成を行いました。選手の強化では、市内高校生の強化が行われました。昭和47年7月に石岡一高バドミントン部が結成され、放課後、午後10時まで猛練習、また、月に1回は遠征・合宿が行われました。その結果、第29回国体では石岡一高の生徒を主体とする高校男子が4位、石岡二高の生徒が加入する高校女子は5位という

好成績を収め、茨城県のバドミントン総合3位に貢献しました。

審判員の養成では、市内関係機関団体に推薦を依頼し、十数回にわたり研修を行いました。その結果、53人の公認審判員が誕生し、その多くがバドミントン競技役員として活躍しました。

国体開催をきっかけに、市民のスポーツへの関心が高まりました。学校では一般市民に運動場や体育館が開放され、各種スポーツが盛んに行われ、特にバドミントンの認知度は急激に高まりました。

昭和49年茨城国体の足跡

— スポーツの普及と充実 —
期間/11月4日(祝)祝まで
場所/ふるさと歴史館
(総社1・2・10)

※月曜休館(祝日の場合は翌日)



▶第29回国体バドミントン競技の様子(提供…太田晃氏)

俳句

いしおか俳句同好会

南台 菅野 憲枝
川鶴立つ今日休漁の舟溜り

東田中 川島 市郎
梅雨晴や畑一面草の海

石川 田口 美子
夕端居同じ思い出夫も言う

三村 田端 俊行
ネオン街若者引き込む蟻地獄

細谷 松崎 淑子
穂孕みの青田一望濃き淡き

やさど俳句会

瓦谷 鈴木 恵子
雲の峰越えてジェット音遠く

瓦谷 石田 清美
ひっそりと咲くも床しや蓮の花

瓦谷 山崎 景子
大堤隔て蓮田と湖と

短歌

石岡短歌同好会

井関 木間場 具子
八女茶摘み父の語りし水戸農
高の教えと同じ一芯三葉

東大橋 森 美千留
白がねに光りて空をゆく一機
夫と旅せし日のなつかしき

南台 海老澤 明子
空梅雨とこれをば言ふか窓の
外の曇れる空を仰ぎてゐたり

八郷短歌会

山崎 鈴木 董
ペリリユー島より帰還の師の
熱き語り今も忘れじ小六の夏

山崎 西口 はま子
時鳥・小綬鶏うぐひす鳴く朝に
採れたて胡瓜をサラダに刻む

俚謡

石岡俚謡会

府中 小川野 蛙
木々を渡つて鳴くカッコウに
朝はことさら 透きとおる

若松 川崎 洋子
ゆらりゆらりと 夏風まかせ
タチキアオイの 花ダンス

南台 香俱耶姫
灼けた砂浜 行つたり来たり

「好き」と言えない 青い夏
国府 坂下 蜻蛉
背丈追いつく 夏草わけて
遠いふる里 過疎の家
山崎 若色 茂
あれはやつぱりオレオレ詐欺だ
うちの婆様 見抜いてた

南台 秋野 もみじ
結婚記念日 あなたとわたし
令和五月の 明るい日

総社 暁 夢華
芋の葉の露 ころころ揺れて
透けて七色 陽にキラリ

細谷 高橋 真希
夏の気配を 感じる夕べ
少し寄り道 したくなる

東石岡 惣野代 英子
明日も元気で あかるい笑顔
俚謡が支える 八十路坂

川柳

いしおか川柳会

杉並 助川 浩史
初恋は永久保存胸の中

小幡 高橋 房子
飲み仲間ほやき合いつつ千鳥足
柿岡 永瀬 敬子
山の名を知らず盆地に生きて
いる

投稿作品

短歌

山崎 荒井 幸子
難解なパズルにじっくり挑み
たる日がなしと降る雨の休日
柴内 羽生 俊
初盆や廻る提灯飾るなり夫の
遺影の笑顔見えた

第13回 石岡吟詠詩舞連合会

文化協会だより

私たちの連合会は、石岡市を中心とし、近隣の皆様方のご協力をいただき、年1回、10月の体育の日に大会を開催しています。

詩吟を通じて吟詠と吟舞を愛する会員が一堂に会し、各々が親睦を深めながら日頃の練習研鑽の成果を十分に発揮し、日本の価値ある伝統芸術を後世に受け継ぎ、今後の吟舞会発展のためにお役に立てることを目標にして活動している会です。

会員／約100名

年会費／大会時に参加費1000円

石岡吟詠詩舞連合会 Tel 26-2201 (狩谷)

神楽奉納

日時／9月12日(困)・9月13日(金)

午後7時～午後11時

場所／柿岡八幡神社

円太々神楽保存会 Tel 43-0084 (木村)

大正琴演奏会

日時／9月21日(土)

午前11時、午後2時

場所／茨城県フラワーパーク

フラワードーム前広場

石岡大正琴愛好会 Tel 24-0588 (沖田)